

【産地報告】

高知県南国市および香南市のフサスゲ（カヤツリグサ科）

矢野興一^{1,*}・坂本 彰²・前田綾子³

(¹岡山理科大学生物地球学部 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町 1-1;

²土佐植物研究会 〒[REDACTED] 高知県高知市[REDACTED];

³高知県立牧野植物園 〒781-8125 高知県高知市五台山 4200-6)

Okihito YANO^{1,*}, Akira SAKAMOTO² and Ayako MAEDA³: A new record of *Carex metallica* (Cyperaceae) from Nangoku-shi and Konan-shi in Kochi Prefecture, Japan

(¹Faculty of Biosphere-Geosphere Science, Okayama University of Science, Ridai-cho 1-1, Kita-ku, Okayama-shi, Okayama 700-0005, JAPAN; ²The Botanical Society of Tosa, [REDACTED], Kochi-shi, Kochi [REDACTED], JAPAN; ³The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden, Godai-san 4200-6, Kochi-shi, Kochi 781-8125, JAPAN)

*Corresponding author: oki.yano@gmail.com

(2025 年 10 月 27 日 受理)

Abstract:

Carex metallica H.Lév. (Cyperaceae) is a costal segde and distributed in Honshu (westward from Shizuoka Prefecture), Shikoku, Kyushu, and the Nansei Islands in Japan. In Kochi Prefecture, it grows in restricted areas, mainly western parts of prefecture. In 2025, we found this species from Nangoku-shi and Konan-shi in central parts of Kochi Prefecture, which represents the first locality in Nangoku-shi and Konan-shi within Kochi Prefecture.

はじめに

フサスゲ *Carex metallica* H.Lév. (カヤツリグサ科) は、主に沿海地の草地に生育する多年生草本であり、国内では本州(静岡県以西)、四国、九州、南西諸島に分布する(勝山 2015)。四国では徳島県、香川県、愛媛県、高知県の沿海部に分布している(すげの会 2018, 2020)。このうち高知県では西部の四万十市しか生育が確認されておらず、県内での分布が限られている(小林 2009, すげの会 2018, 2020)。

著者の一人、坂本が 2025 年 5 月 11 日に高知県南国市の河原においてフサスゲが生育しているのを見出し、著者らが 2025 年 5 月 15 日にその生育状況を確認した。さらに、5 月 23 日に坂本が南国市の生育地の下流域である香南市の河川敷のハチク林縁においてフサスゲが生育しているのを新たに見出した。高知県では四万十市以外でのフサスゲの報告はこれまでなく、南国市および香南市から初記録であると思われるため、ここに報告する。

南国市および香南市のフサスゲ

著者らは 2025 年 5 月 15 日に高知県南国市の河口付近の河川敷にフサスゲが 3 株生育しているのを確認した(図 1, 2)。フサスゲは、日当たりの良い草地に生育しており、同所的に

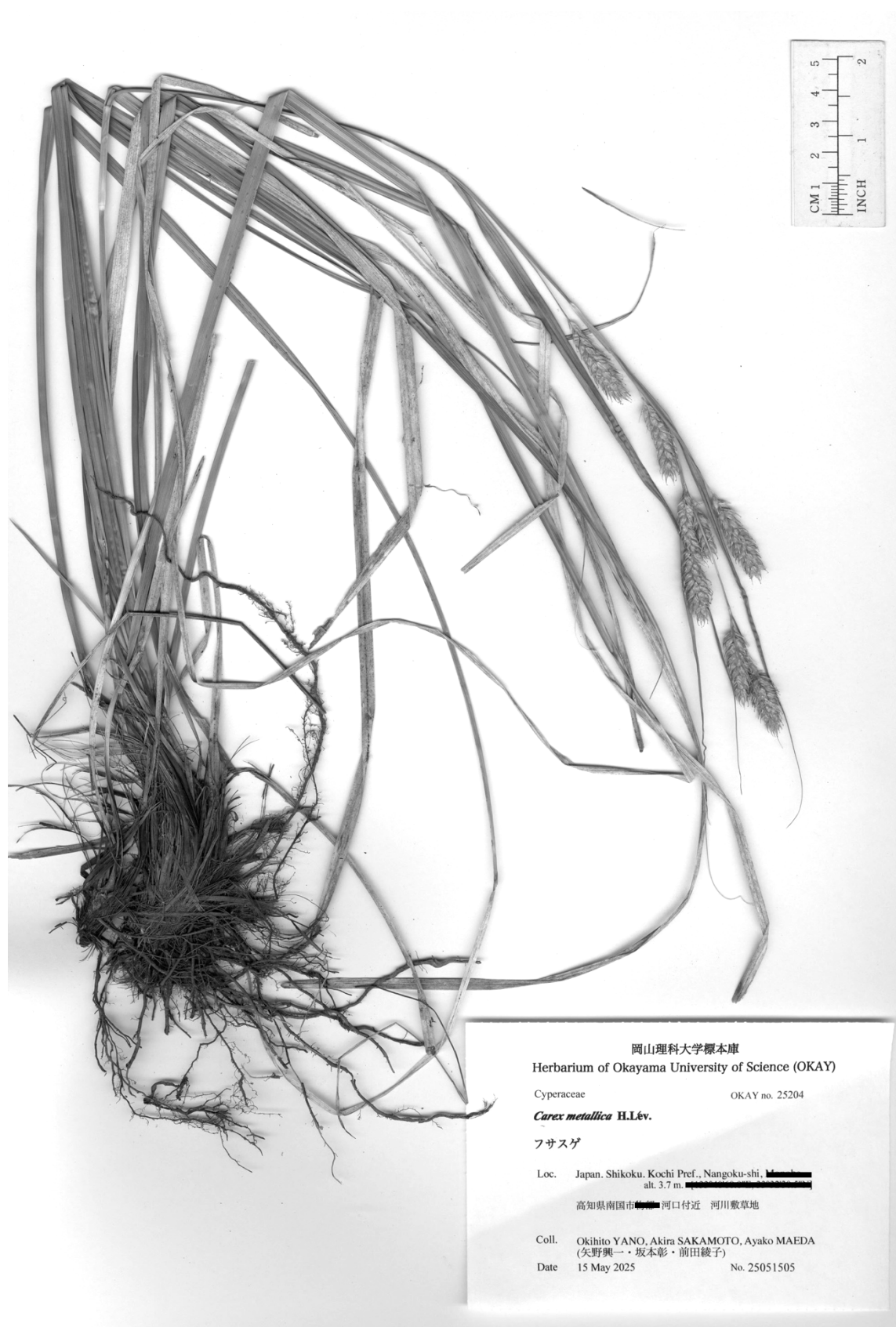


図1. 南国市産フサスゲの標本 (O. Yano & al. no. 25051505, 15 May 2025, OKAY-25204).



図 2. 南国市産フサスゲの花序 (2025 年 5 月 15 日撮影).



図 3. 香南市のフサスゲ生育地 (2025 年 5 月 23 日撮影).

スゲ属アオスゲ *C. leucochlora* Bunge、マスクサ *C. gibba* Wahlenb.、ヤワラスゲ *C. transversa* Boott が生育していた。一方、5月23日に南国市の生育地の下流域である香南市において、新たに見出されたフサスゲは、河川敷のハチク林の縁の3箇所計14個体が生育していた(図3)。

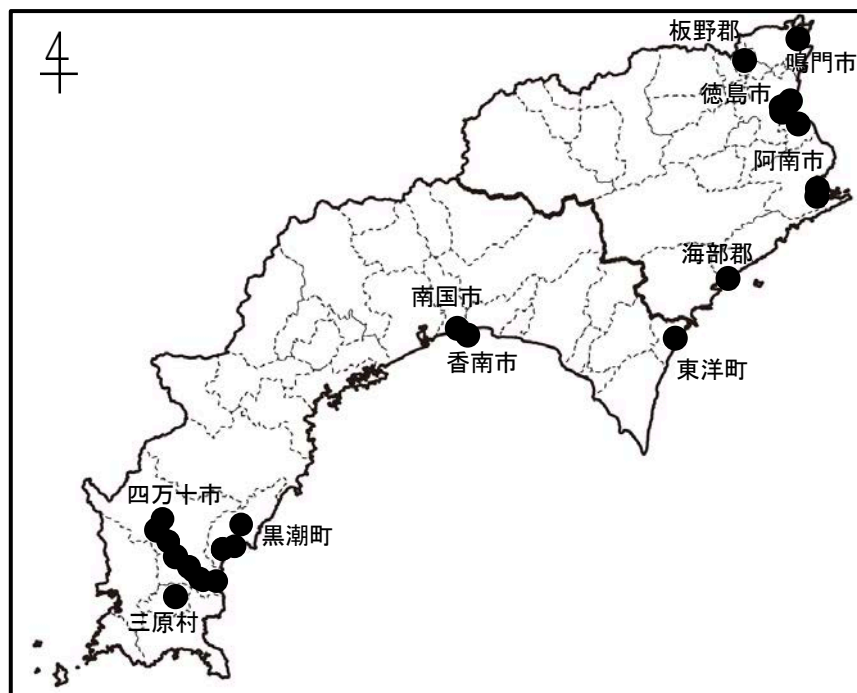


図4. 高知県および徳島県におけるフサスゲの分布. ● : KPM, MBK, OKAY, TKPM収蔵の標本データ.

また、神奈川県立生命の星・地球博物館植物標本庫 (KPM)、高知県立牧野植物園標本庫 (MBK)、岡山理科大学植物標本庫 (OKAY)、徳島県立博物館植物標本庫 (TKPM) にて、高知県内で採取されたフサスゲの標本を調べた結果、高知県西部の四万十市で採取された標本が 31 点、隣接する幡多郡黒潮町産の標本 4 点、同郡三原村産のものが 1 点であり、四万十川流域および近隣の沿岸部に分布していた (図 4)。南国市で採取された標本はこれまでになかった。一方、高知県東部の東洋町で 2018 年に採取された標本 1 点が確認された。東洋町は、徳島県でのフサスゲの産地である海部郡や阿南市と連続して分布していると思われる (図 4)。しかし、南国市および香南市のフサスゲの分布はこれらの産地とは連続しておらず、今回見出された南国市の生育地は造成・整備された河川敷の草地であったが、隣接する香南市の生育地は河川敷のハチク林縁であることから、自然分布と考えられた。

証拠標本

証拠標本は OKAY および MBK に収蔵されている。なお、今回発見したフサスゲの個体数が少ないために詳細な地名は省略した。

フサスゲ *Carex metallica* H.Lév.

高知県. 南国市 (坂本彰, 福原宏, 佐藤功, 猪野律, 富本敦子 no. FOK2-0011440, 11 May 2025, MBK358485; O. Yano, A. Sakamoto & A. Maeda no. 25051505, 15 May 2025, OKAY-25204 3 点). 香南市 (坂本彰 no. FOK2-0011865, 23 May 2025, MBK0359118).

確認標本

KPM、MBK、OKAY、TKPM で確認した高知県および徳島県で採集されたフサスゲの標本データを示した。採集地名は現在の郡・市・町名を用い、標本ラベルに記載されている旧地名は[]で示した。

高知県. 四万十市 [中村市] 津蔵淵 (一宮神社) (鴻上 泰 no. 9641, 18 May 1997, MBK0016847 & 0016848). 四万十市 [中村市] 久保川 (鴻上 泰 no. M00-334, 6 July 2000, MBK0167492). 四万十市 [中村市] 坂本 (宮崎 卓 no. 9761, 1 May 1997, MBK0161606; 宮崎 卓 no. 7892, 25 Apr. 1992, KPM-NA0142915). 四万十市 [中村市] 具同 トンボ公園 (田城松幸, 佐田博子 no. FOK-046152, 9 June 2002, MBK0101816). 四万十市 [中村市] 渡川 (酒井泰一 no. FOK-066721, 12 May 2004, MBK0082925). 四万十市 西土佐中半 [西土佐村中半] (田城松幸, 佐田博子, 他 3 名 no. FOK-076384, 9 May 2006, MBK0154926). 四万十市 入田 (甲斐 崇 nos. 27 & 28, 15 Apr. 2009, MBK0241795 & MBK0241796). 四万十市 [中村市] 川登 (黒岩宣仁 他 1 名 no. FOK-053030, 5 Apr. 2002, MBK0128697). 四万十市 [中村市] 田出の川 (黒岩宣仁 s.n., 17 May 1997, MBK0170105). 四万十市 [中村市] 双海 (大平 豊 no. 10570, 28 Apr. 2002, MBK0315178). 四万十市 角崎 (甲斐 崇 no. 95, 16 Apr. 2009, MBK0241862). 四万十市 [中村市] 平野 平野ノ浜 (大平 豊 no. 10567, 28 Apr. 2002, MBK0315175). 四万十市 佐田 沈下橋 (今成橋) (T. Hoshino, T. Masaki, T. Nanami & M. Iwata s.n., 10 Apr. 2005, OKAY-19825; T. Hoshino, T. Masaki & J. Fujii s.n., 29 Apr. 2006, OKAY-20713, 13 点; 採集者不明, 28 Apr. 1997, MBK0172946 & MBK0172878). 幡多郡 三原村 川平郷 (田城光子 no. FOS-006182, 26 Apr. 2014, MBK0253441). 幡多郡 黒潮町 [大方

町] 入野 (田城松幸, 酒井泰一, 佐田博子 他 no. FOK-044196, 14 Apr. 2002, MBK0126356). 幡多郡 黒潮町 [大方町] 早咲 (酒井泰一 他 1 名 no. FOK-066726, 26 May 2004, MBK0082972). 幡多郡 黒潮町 [大方町] 浮津 (田城松幸 no. FOK-071567, 2 May 2005, MBK0116409). 幡多郡 黒潮町 [大方町] 伴太郎 (酒井泰一 no. FOK-071564, 2 May 2005, MBK0114354). 安芸郡 東洋町 生見 (黒岩宣仁 no. FOS-018591, 3 May 2018, MBK0320556).

徳島県. 海部郡 牟岐町 牟岐浦 出羽島 (星野卓二 no. 10323, 22 May 1994, OKAY-4047). 阿南市 (S. Takafuji s.n., 3 May 1964, TKPM-NA0008422). 阿南市 福井町 (木下 覚 s.n., 20 May 1994, TKPM BSP036728; 木下 覚 s.n., 22 May 1994, TKPM-NA0096902). 阿南市 橘町 [橘] (高藤 茂 no. 1368, 20 May 1964, TKPM BSP039469; 伊延敏行 s.n., 29 Apr. 1965, TKPM BSP0003507, TKPM BSP0003510, TKPM BSP0003511, TKPM BSP0003512, TKPM BSP0003513). 小松島市 (赤澤時之 nos. 55028, 55029(1)(2), 55030, 55031, 21 May 1950, TKPM BSP112248, TKPM BSP112249, TKPM BSP112250, TKPM BSP112251, TKPM BSP112252). 徳島市 勝占町 (佐賀喜代子 s.n., 23 May 2014, TKPM BSP082150). 徳島市 論田町 勝浦浜橋 (谷 覚 s.n. 12 May 2008, TKPM BSP084020). 徳島市 大原町 籠 [カゴ] (田淵武樹 s.n., 30 May 1982, TKPM BSP086526; 田淵武樹 s.n., 2 May 1998, TKPM BSP066079). 徳島市 多家良町 丈六寺 (採集者不明, 9 June 1970, TKPM BSP0003514). 徳島市 津田町 新浜 (伊延敏行 s.n., 7 July 1955, TKPM BSP0003508 & TKPM BSP0003509). 徳島市 津田 (T. Hoshino & E. Aoki no. 820529-28, 29 May 1982, OKAY-4103 & OKAY-4104; T. Hoshino, E. Aoki, K. Monden & Shoji no. 820529-28, 29 May 1982, OKAY-1062, OKAY-1063, OKAY-1064, OKAY-1066). 鳴門市 撫養町 (赤澤時之 no. 9448, 21 May 1946, TKPM BSP112247). 板野郡 板野町 (佐賀喜代子 s.n., 3 June 2016, TKPM BSP084555; 佐賀喜代子 s.n., 24 June 2016, TKPM BSP084556).

謝辞

本研究の一部は JSPS 科研費 (22K05697, 研究代表者 矢野興一) の助成を受けて行いました。大西 亘氏 (神奈川県立生命の星・地球博物館) および内藤芳香氏 (徳島県立博物館) には標本の閲覧の便宜を図っていただきました。また、勝山輝男氏 (神奈川県立生命の星・地球博物館) には本種の生育に関して貴重な情報をいただきました。お礼申し上げます。

参考文献

- 勝山輝男 2015. 日本のスゲ 増補改訂. 391 pp. 文一総合出版, 東京.
小林史郎 2009. カヤツリグサ科. In: 高知県・高知県牧野記念財団 (編), 高知県植物誌, pp. 611–644. 高知県・高知県牧野記念財団, 高知.
すげの会 2018. In: 正木智美 (編), 日本産スゲ属植物分布図集, 766 pp. すげの会, 岡山.
すげの会 2020. In: 正木智美・矢野興一・池田 博・星野卓二 (編), 『日本産スゲ属植物分布図集』(2018) の訂正・追加 (I). 莎草研究 (22): 47–55.